

KTest

高品質 より良いサービス



練習問題

<https://www.ktest.jp>

1年間無料アップデート

Exam : 70-765

Title : Provisioning SQL Databases

Version : DEMO

1. トピック 1、Azure での SQL の実装

注: この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。 シリーズの各質問には固有の解決策が含まれています。 解決策が定められた目標を満たしているかどうかを判断します。

貴社は、Azure 仮想マシンへの将来のすべての SQL Server 展開に Microsoft Azure Resource Manager テンプレートを使用する予定です。

テンプレートを作成する必要があります。

解決策: Visual Studio を使用して、SQL Server 環境の展開設定を構成する XAML テンプレートを作成します。

解決策は目標を満たしていますか?

A. はい

B. いいえ

Answer: B

Explanation:

Azure Resource Manager テンプレートは、XAML ではなく JSON と、展開用の値を構築するために使用できる式で構成されています。

優れた JSON エディターはテンプレートを作成する作業を単純化することができます。

注: 最も単純な構造では、Azure Resource Manager テンプレートには次の要素が含まれています。

```
{
"$スキーマ": "http://schema.management.azure.com/schemas/2015-01-01/deploymentTemplate.json#",
"contentVersion": "",
"パラメーター": {},
"変数": {},
"リソース": [],
"出力": {}
}
```

References: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-group-authoring-templates>

2. 注: この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。 シリーズの各質問には固有の解決策が含まれています。 解決策が定められた目標を満たしているかどうかを判断します。

貴社は、Azure 仮想マシンへの将来のすべての SQL Server 展開に Microsoft Azure Resource Manager テンプレートを使用する予定です。

テンプレートを作成する必要があります。

解決方法: Azure リソースグループに目的の SQL Server 構成を作成してから、リソースグループテンプレートをエクスポートしてテンプレートライブラリに保存します。

解決策は目標を満たしていますか?

A. はい

B. いいえ

Answer: B

Explanation:

Azure Resource Manager テンプレートは、JSON と、展開用の値を構築するために使用できる式で構成されています。

リソースグループテンプレートではなく、優れた JSON エディタを使用すると、テンプレートの作成作

業が簡単になります。

注: 最も単純な構造の **Azure Resource Manager** テンプレートには、次の要素が含まれています。

```
{
"$スキーマ": "http://schema.management.azure.com/schemas/2015-01-01/deploymentTemplate.json#",
"contentVersion": "",
"パラメーター": {},
"変数": {},
"リソース": [],
"出力": {}
}
```

References:<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-group-authoring-templates>

3. 注: この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。 シリーズの各質問には固有の解決策が含まれています。 解決策が定められた目標を満たしているかどうかを判断します。

貴社は、**Azure** 仮想マシンへの将来のすべての **SQL Server** 展開に **Microsoft Azure Resource Manager** テンプレートを使用する予定です。

テンプレートを作成する必要があります。

解決方法: **Visual Studio** を使用して、**SQL Server** 環境の配置設定を定義する **JSON** テンプレートを作成します。

解決策は目標を満たしていますか?

A. はい

B. いいえ

Answer: A

Explanation:

Azure Resource Manager テンプレートは、**XAML** ではなく **JSON** と、展開用の値を構築するために使用できる式で構成されています。

優れた **JSON** エディターはテンプレートを作成する作業を単純化することができます。

注: 最も単純な構造では、**Azure Resource Manager** テンプレートには次の要素が含まれています。

```
{
"$スキーマ": "http://schema.management.azure.com/schemas/2015-01-01/deploymentTemplate.json#",
"contentVersion": "",
"パラメーター": {},
"変数": {},
"リソース": [],
"出力": {}
}
```

References:<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-group-authoring-templates>

4. 単一の **tempdb** データベースファイルを含む **SRV2014** という名前の **Microsoft SQL Server 2014** があります。 **tempdb** データベースファイルのサイズは **8** ギガバイト (GB) です。

デフォルト設定を使用して、**SQL Server 2016** という名前の **SQL Server 2016** インスタンスをインストールします。 新しいインスタンスには **8** つの論理プロセッサコアがあります。

データベースを SRV2014 から SRV2016 に移行する予定です。

SRV2016 で tempdb データベースを設定する必要があります。このソリューションでは、将来の tempdb 自動成長イベントの数を最小限に抑える必要があります。

あなたは何をすべきか？

- A. tempdb データファイルのサイズを 8 GB に増やしてください。 tempdb データベースで、MAXDOP プロパティの値を 8 に設定します。
- B. tempdb データファイルのサイズを 1 GB に増やします。
- C.追加の tempdb データファイルを 7 つ追加します。 tempdb データベースで、MAXDOP プロパティの値を 8 に設定します。
- D. tempdb データファイルの自動拡張設定の値を 128 メガバイト (MB) に設定します。 さらに 7 つの tempdb データファイルを追加し、autogrowth 値を 128 MB に設定します。

Answer: B

Explanation:

tempdb の構成を簡単にするために、SQL Server 2016 のセットアップは、マルチプロセッサ環境用に tempdb のさまざまなプロパティを構成するように拡張されています。

1. tempdb 専用の新しいタブが、セットアップワークフローの[データベースエンジンの構成]ステップに追加されました。

2.設定オプション

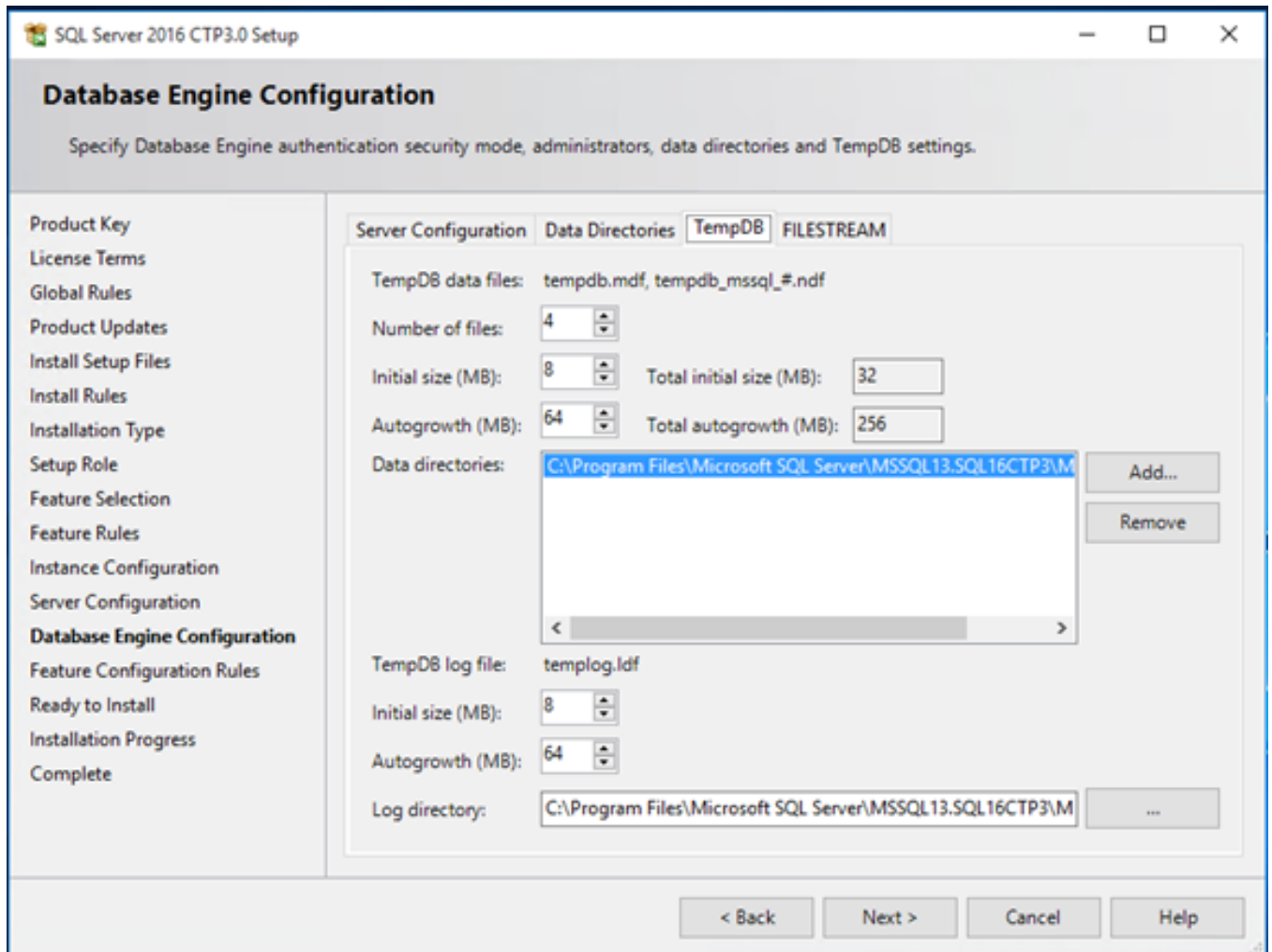
データファイル

* **Number of files** - これはデフォルトで 8 の低い値、またはセットアップによって検出された論理コア数になります。

***Initial size** - MB 単位で指定され、各 tempdb データファイルに適用されます。 これにより、同じサイズのすべてのファイルを簡単に設定できます。 合計初期サイズは、作成される累積 tempdb データファイルサイズ (ファイル数*初期サイズ) です。

* **Autogrowth** - MB で指定され (パーセントベースの非線形成長ではなく、固定成長が優先されます)、各ファイルに適用されます。 1 PFS 間隔をカバーするために 64 MB のデフォルト値が選択されました。

図:



References:<https://blogs.msdn.microsoft.com/psssql/2016/03/17/sql-2016-it-just-runs-faster-automatic-tempdb-configuration/>

5. 注: この質問は、同じまたは類似の回答の選択肢を使用する一連の質問の一部です。 回答の選択は、シリーズ内の複数の質問に対して正しい場合があります。 各質問は、このシリーズの他の質問とは無関係です。 質問に記載されている情報と詳細は、その質問にのみ適用されます。

Microsoft Azure に複数の GS シリーズ仮想マシン (VM) を展開しました。 開発環境に Microsoft SQL Server を配置する予定です。 各 VM にはバックアップ専用のディスクがあります。

データベースを VM 上のローカルディスクにバックアップする必要があります。 バックアップは別の領域に複製する必要があります。

どのストレージオプションを使うべきですか?

- A. プレミアム P10 ディスクストレージ
- B. プレミアム P20 ディスクストレージ
- C. プレミアム P30 ディスクストレージ
- D. 標準のローカル冗長ディスクストレージ
- E. 標準の地理的冗長ディスクストレージ
- F. 標準ゾーンの冗長 BLOB ストレージ
- G. 標準のローカル冗長 BLOB ストレージ
- H. 標準地理冗長 BLOB ストレージ

Answer: E

Explanation:

注: **SQL Database** はデータベースのバックアップを自動的に作成し、**Azure** の読み取りアクセス地理的冗長ストレージ (**RA-GRS**) を使用して地理的冗長性を提供します。これらのバックアップは自動的に作成され、追加料金はかかりません。それらを実現するために何もする必要はありません。データベースのバックアップは、偶発的なデータの破損や削除からデータを保護するため、ビジネスの継続性と障害回復戦略の重要な部分です。

References:<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/sql-database/sql-database-automated-backups>